

平成30年10月1日発行 発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局 高松市西内町7番11号 香川県高等学校PTA会館内
TEL087-851-4614 FAX087-851-4628 E-mail info@kagawa-koupren.com URL http://kagawa-koupren.com/

会長あいさつ



香川県高等学校PTA連合会

会長 泉 満

皆様には日ごろよりPTA活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今年度6月の総会におきまして、香川県高等学校PTA連合会会長7年目を拝命いたしました。身に余る大役ではありますが、皆様のご指導とご協力により、子どもたちが安心して有意義な高校生活を送れるよう力を尽くしてまいります。

昨年度から全国高等学校PTA連合会の副会長を務めている関係で、研修会などにもたびたび参加し、毎回教育を取り巻く話題についての講演を拝聴しています。一昨年には、文部科学大臣補佐官の鈴木寛さんのお話を聞く機会に恵まれました。

OECD（経済協力開発機構）が三年に一度15歳向けに実施している国際学力テスト「PISA調査」で、日本は2003年に一度低迷しましたがその後の教育改革により、2012年には当時のOECD加盟国34か国平均得点が科学的リテラシーでは1位、読解力でも1位、数学的リテラシーでは2位、そして総合1位となりました。これは「日本の15歳は世界一」であり、「15歳までの日本の教育は世界一」と言っても過言ではありません。これを高校教育と

大学教育でさらに伸ばしていかなければなりません。しかし、残念ながら、大学でもっと残念なことになっています。2017年の国際大学ランキングでは、東京大学39位、京都大学91位という結果であり、満足できるとは言えません。だからこそ高校教育と大学教育を集中的に改革しなければなりません。と鈴木さんは力説しています。

実際に多くの高等学校教育の現場では、学習指導要領よりも事実上、大学入試のほうが大きな影響を与えています。入試に対応した教育になりがちなのです。大学入試が変わらないと高校教育は変わらないということですが、そこで、今まで中心だった「知識・技能」にプラスして、「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」といった学力の3要素を伸ばすことに注力していきます。マークシートから記述式、脱丸暗記、高校時代の活動報告、面接、コミュニケーション能力などに代表される能力を重視していこうということです。

文部科学省の高等学校学習指導要領の告示がされています。高大接続改革の一つとしてセンター試験の大幅な内容変更が1年後というところで、教育現場は待ったなしの印象を私は持っています。PTAは時代の変化にフィットした教育環境を家庭、学校、行政の橋渡し役として提供するお手伝いを担うものと考えています。

今後とも皆さまの温かいご理解とご支援とご協力をよろしくお願ひします。

PTA NEWS

高P連より（一般財団法人香川県高等学校教育振興会主催）

第25回大学・専門学校訪問研修会（大阪方面）の実施

期日 平成30年10月19日（金）・20日（土）
訪問校 関西大学（千里山キャンパス）、近畿大学（東大阪キャンパス）、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校、桃山学院大学

全国高P連より

「西日本豪雨災害義援金」の募集活動のお知らせ

平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨災害により、西日本を中心に甚大な被害が出ました。被害に遭われた皆様にご心からお見舞い申し上げます。

このたび全国高P連では、各県高P連を通して義援金を募ることとしました。（義援金は全国の各単Pから募り、中国四国地区内の高P連を通して教育支援のために活用いたします。）

【香川県高P連】

振込：各校で集約→香川県高P連の口座へ
締切：平成30年12月28日（金）

香川県教育委員会事務局 生涯学習・文化財課より

高校生のための瀬戸内アートサマープログラム（8月20日、21日）



瀬戸内国際芸術祭総合ディレクターの北川フラムさんを講師として、島や芸術祭について学ぶプログラムに、県内のさまざまな高校から集まった約100名の高校生。女木島と男木島のアート作品を鑑賞したり、瀬戸内の「食」を堪能したり、さらに島を元気にする方法を考え、グループで熱い討論を行ったりと、有意義な活動を行いました。真夏の太陽の下、青く輝く瀬戸内の海と島と、地元香川の未来を担うエネルギーな高校生たち。この2日間で、郷土のすばらしさとその未来への関心を高めることができました。この経験を生かしてさらに視野を広げ、成長を遂げてほしいと思います。

PTA活動紹介

- PTA活動紹介 3
- 四国学院大学香川西高校、豊学校
- 第68回全国高P連大会佐賀大会報告 4
- 県教育委員会より 4



会長あいさつ	1
PTA NEWS	1
平成30年度香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰及び高P連総会	2
一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会	
PTA会長等研修講演会報告	2

平成30年度 香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰式及び高P連総会 一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会

6月8日、レクザムホールにおいて、平成30年度PTA活動推進功労者表彰式、香川県高等学校PTA連合会総会及び一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会が開催されました。表彰式では、工代県教育長を始め、県教育委員会、関係団体等のご来賓のご臨席をいただきました。今回引退されたPTA活動推進功労者として、表彰状36名、感謝状47名、県連本部功労者9名が表彰され、泉満会長から賞状と記念品が贈られました。



来賓祝辞のあと、受賞者を代表して高松西高校PTA会長であり、本会監事であった松川博文様が謝辞を述べて式は終了しました。



- 30年度役員を選任
- 第68回全国高P連大会（佐賀大会）について
- 香川県高等学校PTA連合会規約等の改正について
- 個人情報保護に関する基本方針並びに個人情報保護規程の策定について
- 議案について、本会役員より説明・報告の後、審議され全議案が承認されました。
- 続いて、教育振興会定時評議員会においては、
- 29年度事業報告
- 29年度収支決算、監査報告
- 理事及び監事の任期満了に伴う改選の3議案が滞りなく議了したのち報告事項に移りました。
- 30年度事業計画
- 30年度収支予算
- 公益事業について



役員名簿 平成30年度 一般財団法人香川県高等学校教育振興会

役員名簿 平成30年度 香川県高等学校PTA連合会

役職名	氏名	所属校	所属校役職名
理事長	泉 満	高松南	顧問
常務理事	安藤 航二	振興会事務局	事務局長
理事	梶 正司	高松商業	校長
	平畑 博人	高松南	校長
	多田 幸平	観音寺第一	校長
	中條 敏雄	高松第一	校長
	小野 眞澄	大手前丸亀	校長
監事	山口 照雄	高松西	会長
	福田 直樹	丸亀城西	会長

役職名	氏名	所属校	所属校役職名
会長	泉 満	高松南	顧問
副会長	名和京太郎	三本松	会長
	國時 忠能	丸亀	会長
	平畑 博人	高松南	校長
理事	松本 聡司	石田	校長
	千切谷耕一郎	高松	会長
	堀 政礼	高松工芸	会長
	村山 祐介	香川中央	会長
	井上 雅	坂出工業	会長
	森江 実	善通寺第一	会長

役職名	氏名	所属校	所属校役職名
理事	多田 幸平	観音寺第一	校長
	岩倉 秀人	観音寺総合	会長
	栗林 哲	坂出第一	校長
	小野 眞澄	大手前丸亀	校長
	山本 航二	高松養護	校長
常務理事	安藤 航二	高P連事務局	事務局長
監事	山口 照雄	高松西	会長
	福田 直樹	丸亀城西	会長
顧問	綾田 福雄	元高P連会長(大手前高松)	顧問



PTA会長等研修講演会報告

今の時代に求められる子どもたちとの関わり～学校を取り巻く諸問題を通して～
大津市教育委員会 いじめ問題等教育課題アドバイザー（元大津市教育委員会教育長） 橋谷 守 氏

7月24日に香川県教育センター1大研修室において、「平成30年度PTA会長等研修講演会」が県教育センターとの共催で開催されました。大津市教育委員会 いじめ問題等教育課題アドバイザー（元大津市教育委員会教育長）橋谷守氏をお招きし、「今の時代に求められる子どもたちとの関わり～学校を取り巻く諸問題を通して～」と題して、ご講演いただきました。

橋谷先生は、中学校現場での勤務の後、京都市教育委員会 センター所長、京都教育大学教授を歴任されました。現在も、大津市教育委員会 いじめ問題等教育課題アドバイザー、京都教育大学名誉教授、京都市の教育相談顧問として活躍なさっておられます。

橋谷先生は、講演の冒頭で「教育」という言葉について、語源からひも解いて解説されました。「教」の字は、旧字体から「交+子+攴」であり、「攴（コウ）」は「互いに」という意味を持っており「親子」を指します。「文」は「ムチや棒」を表す象形文字で、「棒をもって注意する親子関係」が表されています。

一方、「育」の字は「ナ+月」であり、「育」の字は「ナ+月」の上に子が反対になった「ナ+ト」がのっぺりしています。これは、「赤子が無事に生まれる」という意味の象形文字で、「無事に生まれてよく育つ」ということです。また、「スダツ」「ソヒタツ」傍らに立って教える、といった意味があり、教育は「ひとり立ちできるまで助け導く」ということとなります。

これが、英語では「education」となり、これはラテン語の「educatio」「educere」が語源です。「educere」は引き出すという意味があり、「education」という語には「その子のいいところを引き出す」という意味があります。

その子が持っている素質、その子らしさを「教育」でもって引き出したい、というのが「education」です。この「教育」は、ある程度強制力をもって子供を育てる、ということが始まり、いじめのデータや認知件数、その具体的な内容や原因を綿密に分析した結果を紹介され、時には心も痛む場面もありましたが、とても臨場感がありました。なお一層考えさせられました。

そして、いじめを起させる原因は何なのか、問題は何か、どこにあるのか、などについて説いていかれました。

最後には、立命館大学教授 団士郎さんの「家族の練習問題」の話が引用され、簡単な物を与えなくて子どもに我慢をさせる。単に「我慢をさせる」ということを言っているのではなく、いろいろな思いの中で、子どもと話をしながら意思決定をしていく。なかなかできないことでも、こうしなさいと指示することを通して、親子ともが一緒に我慢を覚える、ということを感じていると、締めくくられました。

受講者のアンケートには、「『寄り添う』を大切にしたい。」「『厳しい現実を学びました。』」「2学期から子どもを見つめる目を養うことができた。」「『実際の事例に基づいた話を聞き、改めていじめの恐ろしさ、残酷さを感じた。子どもも小さな変化に気づくことにも、子どもが相談できる環境づくりが必要だと思ふ。』」「いじめが起る背景が、これまでのもやもやした定義づけでなく、丁寧に分析されていて、すっきり納得できました。」「我々大人が、子どもと世界、子どもとの感覚をしっかりと知る努力をすべきだと思つた。」「などの感想が書かれました。

橋谷先生の熱心な講演に、参加者全員がメモを取りながら聞き入っており、とても充実した研修講演会が開催できたことを報告します。

P T A 活動紹介

四国学院大学 香川西 高校

本校は、西讃地区唯一の私学であり、さらに、香川県内唯一のミッション系高等学校です。創立70周年を迎えた201

6年4月に四国学院大学の系属校となり、それまでの香川西高等学校から校名も四国学院大学香川西高等学校と改め、新たに歩み始めました。

スクールモットーである、『Vos estis sal terrae』（汝らは、地の塩である。）は、「わたしたちは、ひとりひとり、他の人や物に代えることのできない、かけがえのない人間だ。」との宣言です。また、教員、保護者が連携しながら、豊かな人間性の醸成に寄与する教育を行っています。

本校PTAは、「教育振興会」と称され、在校生の保護者のみに限られてはいません。卒業後も教育振興会役員として活動が出来る組織となっています。

その中で、年1回の振興会だよりの発行と、香川県私学振興大会への参加、四学香川西高祭での、バザーの出店を行っています。

私学振興大会は、昨年度から大会運営が保護者会となり、「親の願い」と題して代表者1名の発表があります。昨年度の大会において、「学校選択の自由化が進む今、魅力ある学校作りとして、保護者、教員とが丸となって取り組んでいくことが大切だ」との発表にとっても感銘

を受けました。今後も毎年参加したいと思っています。



現在の西高は、寮生が全校の4割強を占めており、そのため、文化祭バザーでは、懐かしい家庭の味、食べてばつと笑顔になるような物を提供できるようにと、保護者がいろいろと思考しながら奮闘し、当日の朝から準備と調理に当たっています。文化祭は9月の中旬にあり、季節的にも食材の扱いには十分に気を配りながら、役員同士が、わきあいあいと楽しく汗だくになりながらも、子供達の笑顔を楽しみにしながら行っています。

この様に、保護者も楽しみながら、学校と連携し、生徒の生きる力や、未来への可能性を高めるお手伝いが出来れば、と思っています、これからも取り組んでいきたいです。



聾学校

本校は県内唯一の聴覚に障害のある幼児児童生徒のための学校です。幼稚園・小・中・高等学校に準じた教育や発達段階に応じた教育を行っています。「豊かな心、自立の力」の校訓のもと、約40名の幼児児童生徒が自立と社会参加を目指して、日々の学習に取り組んでいます。

主なPTA活動は、PTA学級等の運営、運動会・学校祭への参加、PTAだより発行（年3回）、環境整備（年2回）、ベルマーク回収、特別支援学校PTA連絡協議会・研究協議会への参加などです。

運動会では、毎年PTA主催の競技を行っています。昨年は綱引き、今年はラケットとキックでボールを運ぶリレーを行いました。多くの保護者が積極的に参加したことで、保護者間の親睦が深まり、子どもたちも楽しむことができました。

また、2年に1度の学校祭では、毎回手話コーラスを披露し、PTAバザーを開催しています。手話は定期的に行われています。



また、2年に1度の学校祭では、毎回手話コーラスを披露し、PTAバザーを開催しています。手話は定期的に行われています。また、2年に1度の学校祭では、毎回手話コーラスを披露し、PTAバザーを開催しています。手話は定期的に行われています。

集まり、事前に練習を重ねます。PTAバザーでは、手芸の得意な保護者が講師役となり、コサージュや髪飾りなどを手作りして販売しました。自分たちの得意分野を生かせるだけでなく、一緒に活動することで保護者間の親睦を深めることができました。

10年ほど前から、保護者の発案で年に2、3回、保護者による環境整備作業を行っています。ベルマークやテトラパックを集めたポイントで、小さな幼児児童が深さのある大プールに入れるようにブルーフロアをもらったり、手話をしながら利用できるハンズフリー拡声器をもらったりもしました。



第68回 全国高等学校PTA連合会大会 佐賀 大会報告

大会テーマ

「広めよう 高めよう 慈しむ心」

「君たちがつくる希望の明日を」

8月20日(月)・21日(火)に、佐賀県佐賀市市3市において、第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会が開催されました。大会には、香川県から33校71名が、全国からは約9200名が参加しました。大会前日は、唐津市の秋祭り「唐津くんち」の主役である曳山の豪華絢爛さに感動し、唐津城からは眼下に見える玄界灘の紺碧の海に心打たれました。

大会初日には開会式に続いて表彰式が行われ、香川県関係では文部科学大臣表彰で1団体と2名の方が、全国高P連会長表彰で2団体と2名の方が表彰されました。



その後の基調講演では、ラジオDJのレモンさん(山本シュウさん)が「レモンさんのビタミントーク!」と題して「慈しみの合言葉! We are シンセキ!」と題して講演されました。レモンさんは、娘の通う小学校のPTA会長を、レモンのかぶりものをした「レモンさん」というキャラクターで5年間務め、その活動が著書「レモンさんのPTA爆談」で発表されました。自称「おせっかいなシンセキのおパチャン!」として、講演会などいろいろなお節介をしに、全国を飛び回っておられます。講演の中では、「時代は、『第二の明治維新』真っただ中!だから、叩き合い、迷い、孤独が増えています!」「レモンさんの合言葉は、We are シンセキ!」といった叫びともとれるようなメッセージが送られました。

午後の分科会では4市5会場に分かれて、全国高P連研究発表をはじめ、7分科会が開かれ、各会場では慈しむ心に満ちた発表と、熱のこもった研究協議やパネルディスカッションが行われました。

大会2日目は、記念講演と分科会報告、閉会式が行われました。今大会は4市5会場に分かれての分散開催であったため、その特徴を生かし、それぞれの会場で計5本の記念講演が行われました。以下に、講師の紹介をします。

- 佐賀県総合体育館・株式会社タニタ 代表取締役社長 谷田 千里氏
- 佐賀市文化会館・佐賀新聞社 専務取締役・論説委員長 富吉 賢太郎氏
- 唐津市文化体育館・唐津商工会議所 会頭 宮島 清一氏
- 鳥栖市民文化会館・環太平洋大学 教授 古賀 稔彦氏
- 嬉野市体育館・俳優 片岡 鶴太郎氏

講師は佐賀県にゆかりのあるいづれも個性豊かな方々で、参加者は皆さん感銘を受け、研修の成果を満足そうに語っていました。

大会中のアトラクションは、高校生による和太鼓、吹奏楽、ハンドベル、合唱、アフリカの伝統楽器ジャンベの演奏、創作ダンス、ソングリーディング(アクトロバットをしないチアダンス)の他、地元高校生とタレントはなわ氏の歌とトークショー、プレイによる篠笛の演奏など盛りだくさんで、とても趣向を凝らしており、目を見張るものばかりでした。閉会式では、大会実行委員長から参加の皆様に感謝の言葉が述べられ、次期開催地の京都府へ全国高P連旗が引き継がれました。



祝 表 彰

佐賀大会において香川県より受賞された個人・団体・優良PTA文部科学大臣表彰等の表彰者(校)は、次のとおりです。

～おめでとうございます～

◆全国高P連会長表彰(個人)



松川 博文 氏
(高松西高校前PTA会長)
県P副会長2年
県P会長1年
県高P連監事1年



合田 貴憲 氏
(観音寺総合高校前PTA会長)
県P副会長1年
県P会長2年
県高P連理事2年

◆全国高P連会長表彰(団体)



観音寺第一高校PTA



高松中央高校PTA

◆優良PTA文部科学大臣表彰(団体)



高瀬高校PTA

◆PTA活動振興功労者表彰(個人)



小林 康則 氏
(香川県高P連元副会長)
県高P連副会長2年



井上 直樹 氏
(香川県高P連前事務局長)
県高P連事務局長5年

県教育委員会より「教職員の働き方改革」に取り組んでいます!

教職員が心身両面の健康を維持しながら、教育活動に意欲的に取り組むことができる環境づくりを進め、ひいては、教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長をめざして、県教育委員会では、「教職員の働き方改革プラン」を今年3月に策定しました。

本プランでは、重点的に取り組む事項として、夏季休業中における学校閉庁日の設定などのほか、次のような事項を掲げています。働き方改革を実現するために、保護者の方々のご理解とご協力をお願いします。

夜間や休日の留守番電話対応等の導入

・緊急時の連絡体制を整えうえ、県立学校では平日の夜間や休日において、留守番電話等で対応します。定時制・通信制課程のある学校については、実態にあわせて対応します。

部活動の休養日・活動時間の設定

・部活動における休養日及び活動時間の設定は、成長期にある生徒が運動、食事、休養等バランスのとれた生活を送るうえでも重要です。
・来年3月中に策定予定の「香川県部活動ガイドライン(仮称)」に沿って、各県立学校で適切な休養日や活動時間を設定します。

「教職員の働き方改革プラン」については、県教育委員会ホームページの「教職員の働き方改革」をご覧ください。

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyouui/somu/workplan.html>

香川県教育委員会 働き方改革

検索

高校生総合保障制度

引受保険会社 : AIG損害保険株式会社

(担当代理店) (有)アワード TMG (トータルマネジメントグループ) (株)アイネクスト